こどもまんなか
こども家庭庁

令和8年10月23日
こども家庭庁

『はじめの100か月の育ちビジョン』 全国大会・国際シンポジウムを令和8年11月22日(日)～23日(月・祝)に初めて開催します

こども家庭庁は、こどもの誕生前から幼児期までの育ちを社会全体で支えるため、「はじめの100か月の育ちビジョン」の考え方や取組を共有する全国大会と国際シンポジウムを、2026年11月22日(日)・23日(月・祝)に初開催します。こどもの育ちに関わるさまざまな立場の人が集まり、こどもたちのために今できることを考えます。

開催の背景

　こどもの誕生前から幼児期までの「はじめの100か月」は、生涯にわたるウェルビーイングの基礎となる大切な時期です。令和5年12月に閣議決定された「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン(はじめの100か月の育ちビジョン)」では、保護者や専門職だけでなく、社会のさまざまな人がこどもの育ちを支える担い手であることを示しています。今回の大会では、国内外の取組や科学的な知見を共有し、立場や分野を越えて、こどもの育ちを支える方法を考えます。

開催概要

1. **名称:「はじめの100か月の育ちビジョン」全国大会・国際シンポジウム**
2. **日程**
   【全国大会】
   2026年11月22日(日)10時00分～17時00分、11月23日(月・祝)9時00分～12時00分
   【国際シンポジウム】
   2026年11月23日(月・祝)13時00分～18時30分
3. **会場**
   都市センターホテル(東京都千代田区平河町2-4-1)
   オンラインでも参加できます。国際シンポジウムでは日本語・英語の同時通訳を予定しています。
4. **参加費:無料**

5. **参加対象**
子育て中の保護者、幼児教育・保育や子育て支援の関係者、自治体職員、医療・保健・福祉関係者、大学・研究機関の関係者など

6. **一般申込み**
2026年11月13日(金)まで
【全国大会】
https://jmar-form.jp/100mvision/
【国際シンポジウム】
https://www.nttdata-strategy.com/newsrelease/event/100mvision/
※全国大会と国際シンポジウムの両方に参加する場合は、それぞれの登録が必要です。

プログラムの主な内容

全国大会

- 記念講演:こどもの育ちについて、今の時代に大切にしたいことを考えます。
- パネルディスカッション:科学的な知見や各地域における実践事例をもとに、こどもの育ちを社会全体で支える方法を話し合います。
- 分科会:日常のつながりを入口に、こどもや家庭を必要な支援につないでいく方法、地域のだれもが活躍できる「こどもまんなか」のまちづくりの在り方、異なる立場の人が協働し、行動の第一歩を踏み出すための方法などを取り上げます。
- 1日目の22日(日)には、「はじめの100か月ビジョン」PR動画コンテストの授賞式も行います。

※登壇者やプログラムの詳細は、調整中の内容を含むため一部変更になる可能性があります。

国際シンポジウム

日本と諸外国における「はじめの100か月」のこどもの育ちに関する政策や取組、科学的な知見を共有します。国内外の事例発表やパネルディスカッションを通じて、各国の取組から学び、こどもの育ちを支えるためにできることを考えます。OECD職員及び海外の政府関係者の登壇も予定しています。
主な登壇予定者:秋田喜代美氏(こども家庭審議会会長)、小原ベルファリ・ゆり氏(OECD教育スキル局 就学前・学校教育課長)、門田理世氏(西南学院大学教授・モデレーター)、他

※全国大会・国際シンポジウムの詳細情報については、当庁の以下ホームページへ随時掲載します。
別添の開催チラシもご覧ください。
詳しくはこちら→
https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo_sodachi/nationaltournament-symposium

報道機関の皆様へ(取材案内)

全国大会および国際シンポジウムは、開会から閉会まで取材いただけます。取材を希望される場合は、以下の期限までに事前登録をお願いします。

- 開会から閉会まで取材可
- 取材を希望される方は、11月16日(月)15時までに以下のフォームにて登録してください。
https://forms.cloud.microsoft/r/Ck7TtYW6mi
登録後、詳細についてご案内をさせていただきます。
- 登壇者の発表資料等を掲載する場合には別途許可が必要になりますので、予めご相談ください。

【本件連絡先】
こども家庭庁成育局　成育基盤企画課　指針係
担当　本間、岩﨑
電話 03-6861-0059

参考資料：全国大会チラシ（表面）

はじめの100か月の育ちビジョン全国大会

～11/20は世界こどもの日～

参加無料

- ●子育て中の保護者の方
- ●幼児教育・保育関係者
- ●子育て支援関係者
- ●社会福祉協議会職員
- ●母子保健・医療関係者
- ●民生委員・児童委員
- ●地域福祉・NPO等の関係者
- ●企業関係者
- ●大学・研究者等
- ●自治体職員の皆様など

大会テーマ　こどもたちのために、いま私たちにできること

開催日時　2026 11/22（日）10:00～17:00
11/23（月祝）9:00～12:00
国際シンポジウム（月祝）13:00～18:30
※詳細は裏面へ

会場　都市センターホテル
東京都千代田区平河町2丁目4－1
◆オンラインでのハイブリッド同時開催

全国大会の参加申し込みはこちらから
URL:https://jmar-form.jp/100mvision/
参加締切　11/13（金）まで

Day1　11/22（日）プログラム

～ 記念講演 ～
10:15～11:45

今の時代に大切にしたい「こどもの育ち」とは

東京大学名誉教授
汐見　稔幸 氏

×

玉川大学教育学部教授
大豆生田 啓友 氏

×

こども家庭庁 成育局
成育基盤企画課長
横田 愛

～「はじめの100か月ビジョン」PR動画コンテスト授賞式 ～
12:45～13:30

はじめの100か月の育ちビジョン
PR動画コンテスト
授賞式

～ パネルディスカッション① ～
13:45～15:15

こどもの育ちを社会全体で支えるには
―「はじめの100か月」の重要性を科学的知見から考える―

東京大学大学院
経済学研究科教授
山口 慎太郎 氏

×

東京科学大学
公衆衛生学分野教授
藤原 武男 氏

×

カリフォルニア大学
ロサンゼルス校(UCLA)
小児科医・新生児科医
今西 洋介 氏

～ パネルディスカッション② ～
15:30～16:50

こどもの育ちを支える理念と実践
― 全国に先駆けた実践の先に見えてきたもの ―
Coming soon

Day2も様々な登壇者による
クロストークを開催！
詳しくは裏面へ ➡

主催：こども家庭庁（こどもまんなか）

参考資料：国際シンポジウム（表面）

はじめの100か月の育ちビジョン国際シンポジウム

～11/20は世界こどもの日～

参加無料

- ●自治体職員
- ●大学関係者・研究者等
- ●幼児教育・保育関係者
- ●子育て支援関係者
- ●社会福祉協議会職員
- ●母子保健・医療関係者
- ●民生委員・児童委員
- ●地域福祉・NPO等の関係者
- ●企業関係者　など

「はじめの100か月」のこどもの育ちに関する日本と諸外国の最新の施策動向や科学的知見を共有

開催日時　2026 11/23（月祝）13:00～18:30

※11/22・23AMは全国大会を開催予定

会場　都市センターホテル

東京都千代田区平河町2丁目4－1

◆オンラインでのハイブリッド同時開催

参加申込

応募締切　11/13（金）まで

※全国大会にお申込みの方も、国際シンポジウムは別途参加登録が必要です。

国内事例発表／諸外国の取組事例発表／パネルディスカッション／交流会

小原　ベルファリ　ゆり氏
OECD教育スキル局
就学前・学校教育課長

秋田　喜代美 氏
こども家庭庁
こども家庭審議会会長

モデレーター
門田　理世 氏
西南学院大学　教授

この他、諸外国の政府関係者・研究者等が3名程度登壇予定

- Coming soon -

はじめの100か月の育ちビジョン　全国大会も11/22から開催予定

参加申し込みはこちらから

URL：https://jmar-form.jp/100mvision/

事務局　NTTデータ経営研究所
ライフ・バリュー・クリエイションユニット　メール：hajimeno100@nttdata-strategy.com

主催　こどもまんなか　こども家庭庁